

資料 1 - 6

Eタンクエリア D-5タンク フランジ部から内 堰内への水滴下について

2016年11月21日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 事象

EエリアD 5タンク第3フランジ部から内堰内への水の滴下が発生した。

2. 時系列

10 / 6

- 12 : 15 タンクパトロール員よりEエリアD 5タンク第3フランジ部T字部位より水の滴下を発見5～6滴 / 1秒。
(タンク水位 : 92.7%, 第3フランジ部 : 75.6%)
- 12 : 17 タンクパトロール員より水処理当直長へ状況報告
- 13 : 09 当該部からの漏えい水が堰内に落ちないように養生開始
- 13 : 40 漏えい箇所養生完了 (仮設受タンクへ受入開始)
- 14 : 30 滴下水のサンプリング実施
サンプリング結果 (全β放射能) 5.9E+05Bq/L
- 18 : 00 EエリアD 5タンクからEエリアB6タンクへ移送開始

10 / 7

- 7 : 50 EエリアD 5タンクからEエリアB6タンクへ移送終了
(タンク水位 : 92.7% → 71.4%)
- 8 : 00 第3フランジ締結部T字部位より漏洩の無いことを確認

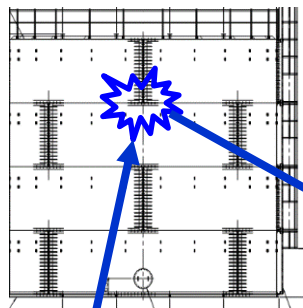
3. 漏えい量（推定）

- ✓ 約32L（現場状況より、5.4L / 時間 * 約6時間）：Sr処理水
※前回パトロール時間から養生完了まで

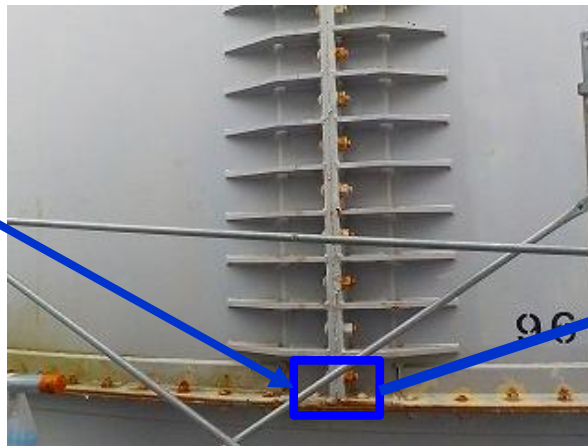
4. 漏洩箇所

- ✓ 第3フランジ締結部T字部位

【EエリアD5タンク漏洩箇所】



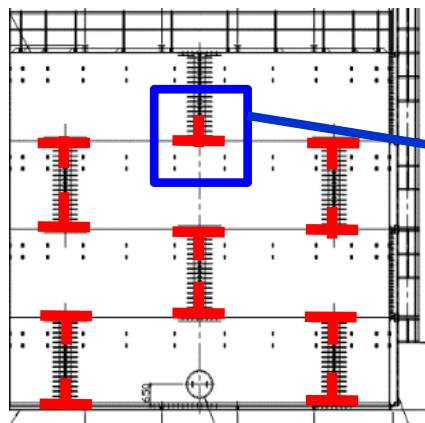
滴下の発生箇所



1. タンクの補修について

- ✓ D5タンクフランジ締結部のT字部位（28箇所）の止水補修終了。（10/25終了）

【フランジ締結部のT字部の止水補修状況】



赤線部：補修箇所

2. 原因調査について

- ✓ 漏えい箇所のフランジ締結部については、フランジ部のパッキン等に何らかの原因があると考えられるが、詳細の調査にはタンクの解体が必要なことから、今後タンクリプレースに併せ調査を行う計画。なお、ボルトについては、止水補修時に緩みの無いことを確認済。